

2021 年度 教育 研究 活動 報告 用 紙 (様式 9)

氏名	林 裕二	職名	教授	学位	修士 (文学) (西南学院大学 1993 年)
----	------	----	----	----	-------------------------

研 究 分 野	研究内容のキーワード
英語学	統語論、会話分析、文体論

研 究 課 題
英語学の領域で、特に会話分析、談話分析を専門とする。ビジネスコミュニケーションにおけるレターや文学作品、映画 (脚本) を言語資料として、人間関係をどのように言語が反映するかを考察する。それらの分野の知見を援用した創作活動として、詩・英語俳句等にも取り組む。

担 当 授 業 科 目
人文学入門 (前期) (英語学科・観光文化学科) 基礎英語 (前期) (観光文化学科) マルチメディアイングリッシュ基礎 (前期) (観光文化学科) 専門演習Ⅰ (前期) (観光文化学科) 北九州の技と文化 (前期) (看護学科、福祉学科、栄養学科、英語学科、観光文化学科) 応用英語 (後期) (観光文化学科) 応用 TOEIC 演習 (後期) (観光文化学科) マルチメディアイングリッシュ応用 (後期) (観光文化学科) 専門演習Ⅱ (後期) (観光文化学科) 卒業研究 (通年) (観光文化学科)

授業を行う上で工夫した事項 (※ 助手については、実習・演習等の指導を行う上で工夫した事項)
【人文学入門 (前期) (英語学科・観光文化学科)】 人文学部の専門科目で 2018 年度カリキュラムの新規科目 (100 分 7 回) の 4 年目にあたる。人文学部の担当教員 7 名がそれぞれ 1 コマ担当する。人文学部での学びの導入として、先ずは一般論的な人文学の枠組み、そして本学における人文学関連の学びの枠組みを知ることが目的とする。2020 年度のリフレクションから、この授業全体の目的がよりわかりやすくなるように、出席や提出物の約束事がシラバス (配布) にどのように示されており、それをどう理解するかにも触れた。担当は 2 回目分のみ。そこでは、「読む」行為について話した。
授業科目名【基礎英語 (前期) (観光文化学科)】 観光文化学科の専門必修科目で 2018 年度カリキュラムの新規科目の 4 年目である。1 年次の学年を二分割したクラスサイズである。授業では基礎的な 4 技能を伸ばすことを目的とした。基礎的な文法が弱いところには、丁寧に繰り返し説明をした。対面授業であり、E-learning の CHieru と英文多読活動を二年ぶりに復活させた。この二つの課題は対面ならではの取組であり、達成率が非常に高くなった。
授業科目名【マルチメディアイングリッシュ基礎 (前期) (観光文化学科)】 2019 年度の新規科目の 3 年目。E-Learning の CHieru を使う必修科目。個々の学生のペースに応じて、リスニング、語彙力、読解力を高めるトレーニングをした。また学習時間を担保できるように、ほぼ毎回課題を出し、理解度を確認した。ネット環境があれば、どこからでも利用可能であり、学生自身が自分の通算学習時間を知ることができるので、学習マイルの目標を持たせて計画的に取り組めるようにした。授業最初に小テストを毎回行い、遠隔でも遅刻者が出ないようにした。1 年次の基礎英語、応用英語の CHieru 学習の体験が生きた。対面でも PC を使う授業であるが、遠隔での端末操作が負担にならないように工夫をした。

専門演習Ⅰ（前期）（観光文化学科） 前期後期のそれぞれの半期科目として分離した中の前期科目である。文献の探し方、人前でわかりやすいプレゼンテーションの仕方の学びや、新聞・雑誌等を使つての読み・書きの研究の基本を学ばせた。ある程度内容のある文献を読ませて、要約、発表、質疑応答のサイクルと重ねた。後期授業（専門演習Ⅱ）では独自のプロジェクトをやろうと予告して、その実行を可能とするコミュニケーション力を高めた。		
北九州の技と文化（前期）（看護学科、福祉学科、栄養学科、英語学科、観光文化学科） 2020年度の新規科目。短期大学部が先行した同名の授業があり、その知見を援用しながら、外部講師を招いて、科目名に相応しい内容となるように工夫した。外部講師には、打ち合わせ段階で、100分を遠隔で行う際の学習効果を上げるための休憩の入れ方、資料の提示の仕方等を説明した。60名を超える履修者が、それぞれの回の最後には活発に質問をしてくれた。これは遠隔だからこそできたという側面もある。実習系の学科の学生の補講を行った。7回の授業を6回の補講で受講する学生もあり、補講スケジュールを更新し続けた。		
応用英語（後期）（観光文化学科） 授業では基礎的な4技能を伸ばすことを目的とした。これは前期の基礎英語でも目指したもののでもある。但し、前期後期でクラスが異なる。E-learningのCHieruの学習と英語の多読がある。両方とも授業外の活動としており、最初に授業外でそれぞれの活動についての講習会を行った。CHieruの学習マイルコンテストで、上位者を表彰するというこゝで、学習の動機づけとした。予習をサボりがちな学生対策案として予習ページを撮影して、送らせた。これは非常に効果的だった。		
応用TOEIC演習（後期）（観光文化学科） TOEIC演習シリーズの中での応用レベルである。応用とはしているが、基本的な文法力を養うことは必要であり、そこを強化しながら、リスニングや読解力を更に伸ばそうとして、少人数を生かして、こまめに質問をして答えさせるパターンを繰り返し行った。音読の課題として、音読を録音させ、それを提出させた。これは個別指導が非常にしやすかった。学習活動に受講生は誠実に取り組み、質問がよく出された。質問が出されやすいのは遠隔の利点である。		
マルチメディアイングリッシュ応用（後期）（観光文化学科） 前期マルチメディアイングリッシュ基礎で得た力を、更に継続して伸ばす授業である。遠隔授業であり、遠慮なく個別に音読をさせられるようになり、対面に負けない学習の質と量を確保できたと考える。CHieruの学習マイルコンテストで、上位者を表彰した。		
専門演習Ⅱ（後期）（観光文化学科） プレゼンテーションスキルを伸ばし、文献をさがす方法、文献をどう解釈して、論文・レポートに生かすかを繰り返し、輪読を通して実践していった。ゼミ独自のプロジェクトとして、本の書評大会（ビブリオバトル）を西南女学院大学で初めて開催するというこゝを目的として、計画、立案、実行まで学生主体で行い、見事成し遂げた。英語学科学生の参加も得て、人文学部規模での開催となり盛会となった。		
授業科目名【卒業研究（通年）（観光文化学科）】 4名からなるクラス。卒論指導については、学年当初は全体指導を、そして授業が進むにつれて、個別指導の時間を増やしながら、卒論制作に取り組ませた。質的研究を取り入れることを3年の最初には伝えていたが、どうしても就職活動との関係で、取り組みが遅くなる傾向がある。コロナの影響が大きく、遅くなり、大半がオンラインでのアンケートとなった。デジタル世代の学生であり、いろいろなツールを使いこなして、アンケートを実施していた。対面授業だが、印刷された文献の利用がどうしても後手となり、ネットからのデジタル文献利用が主になる傾向がある。妥協点として、印刷された文献のデジタル版を取り込むことを指導した。		

学 会 に お け る 活 動		
所属学会等の名称	役職名等（任期）	加入時期
国際ビジネスコミュニケーション学会(JBCA) (旧日本商業英語学会)	九州・山口支部長（2010年2月～2018年9月） 本部理事（2015年11月～2019年10月） 研究年報査読委員(2016年3月～現在に至る)	1993年6月～現在に至る

	本部常任理事(2021 年 10 月～現在に至る) 九州・山口支部長 (2022 年 3 月～現在に至る)	
映像メディア英語教育学会 (ATEM) (旧映画英語教育学会)	九州支部会計監査 (2006 年 1 月～2011 年 12 月) 紀要査読委員(2010 年 4 月～2012 年 3 月) 紀要査読委員 (2018 年 1 月～現在に至る) 九州支部副支部長(2008 年 10 月～2011 年 10 月) 九州支部運営委員 (2012 年 1 月～現在に至る)	1994 年 2 月～現在に至る
日本コミュニケーション学会	九州支部紀要編集委員 (2011 年 9 月～2015 年 6 月)	1994 年 12 月～2015 年 3 月
日本人類言語学会 英語コーパス学会 日本比較文化学会	九州支部会計監査(2013 年 3 月～現在に至る) 本部事務局長・理事	2002 年 10 月～2004 年 3 月 2003 年 4 月～2009 年 3 月 2010 年 2 月～現在に至る
万葉学会		2018 年 5 月～現在に至る 2014 年 2 月～現在に至る

2021年度 研 究 業 績 等 に 関 す る 事 項				
著書、学術論文等の名称	単著・共著の別	発行又は発表の年月	発行所、発表雑誌等又は発表学会等の名称	概 要
(著書) 英語の俳句 二句	単	2021年5月	The Asahi Shimbun Asahi Haikuist Network https://www.asahi.com/ajw/articles/14352479	日付は2021年5月21日
英語の俳句 一句	単	2021年10月	The Asahi Shimbun Asahi Haikuist Network https://www.asahi.com/ajw/articles/14450497	日付は2021年10月1日
英語の俳句 一句	単	2021年10月	公益財団法人 山形市文化振興事業団 山寺芭蕉記念館 第13回山寺芭蕉記念館英語俳句大会 入選作品集 13th english haiku contest (results).pdf.pdf (samidare.jp)	作品集に掲載。媒体は印刷物とデジタル。

2021年度 研究業績等に関する事項				
著書、学術論文等の名称	単著・共著の別	発行又は発表の年月	発行所、発表雑誌等又は発表学会等の名称	概要
(学術論文)				
(翻訳)				
(学会発表) 鈴木孝夫著「ことばと文化」以降の呼称の一考察	単	2021年6月	日本比較文化学会九州支部研究会 (於 鹿児島女子短期大学)	呼び掛け語について、特に親族内での呼び掛け語の使い方が、1970年代から近年までにどのように変わってきたか、またその要因を考察したものである。夫婦間でのお互いの呼び方については、妻も方からの疑問があり、揺れている。
Ishiguro Kazuo, <i>The Remains of the Day</i> の会話分析の一考察	単	2022年3月	日本比較文化学会九州支部研究会 (於 北九州国際会議場)	小説における登場人物の造形は、統語と語彙のカテゴリーにおいて分析される。主人公のコード変換がどのようになされて、当てにならない(unreliable)人物がどう変貌を遂げるかを例証した。 教育研究実績 総数 (2022. 3. 31 現在) 著書 4 (内訳 単4、共0) 学術論文 0 (内訳 単0、共0) 翻訳 0 (内訳 単0、共0) 学会発表 2 (内訳 単2、共0)

外部資金（科学研究費補助金等）導入状況（本学共同研究費を含む）			
（１） 共 同 研 究			
研 究 題 目	交付団体	研 究 者 ○代表者（ ）内は学外者	交付決定額 (単位：円)

外部資金（科学研究費補助金等）導入状況（本学共同研究費を含む）			
（２） 個 人 研 究			
研 究 題 目	交付団体	交付決定額 (単位：円)	備 考

社 会 に お け る 活 動 等		
団体・委員会等の名称 (内 容)	役 職 名 等	任 期 期 間 等
財団法人日本英語検定協会	委員	1995 年 8 月～現在に至る

学 内 に お け る 活 動 等 （役職、委員、学生支援など）
人文学部長 2018 年 4 月 1 日～2022 年 3 月 31 日